



新しい技術の動向について広く情報収集に努め、  
また、“美しく、快適で、機能的な”駐車場づくりをモットーに  
会員各社協力のもと業界の事業発展に寄与しています

事務局：〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-17-17  
TEL 03-3663-6282 FAX 03-6257-1010  
URL <https://www.gia-jpb.jp/>  
E-mail [jpb3533@gia-jpb.jp](mailto:jpb3533@gia-jpb.jp)

## 2024年度 名古屋研修会 開催報告

- 開催日時：2024年11月28日(木) 16:00～20:00  
〈研修会:16:00～17:35〉〈情報交換会:18:00～20:00〉
- 開催場所：名鉄協商株式会社本社会議室(10階)
- 参加人数：研修会55名・情報交換会名49名
- 研修内容：
  - <第1部>
    - 中部支部設立にむけて 協会活動のご紹介  
/中矢一國 広報部会長
    - 不正車両について現状とJPBでのこれまでの取り組みについて/石川浩道 顧問
    - 福岡県警との協定と九州支部での最新取り組み事例について/本房伸一 技術部会長
  - <第2部>  
情報交換会 (Selection - セレクション - 名古屋駅店)

## 2024年度 第2回関西支部研修会 開催報告

- 開催日時：2024年12月19日(木) 16:30～20:00  
〈研修会:16:30～17:45〉〈情報交換会:18:00～20:00〉
- 開催場所：大江ビル 13階 会議室
- 参加人数：研修会57名・情報交換会名52名
- 研修内容：
  - <第1部>
    - 駐車場向けミリ波センサのご紹介  
/IDEC ALPS Technologies株式会社
    - パーキング運営をサポートする『ホットラインソリューション』のご紹介/株式会社ケイマックス
    - 入出庫も精算もスマートに！新しい駐車場のカタチを実現する駐車場向けソリューション  
/シャープマーケティングジャパン株式会社
  - <第2部>  
情報交換会 (ホテルプリムローズ大阪)

## 2024年度 第4回 理事会 開催報告

- 開催日時：2024年12月6日(金) 16:00～17:20
- 開催場所：アイオス永田町 2階会議室  
及びオンライン (Zoom)
- 内 容：
  - 《報告事項》
    - ① ロードマップ進捗状況
    - ② 行事報告 (実務者交流会 (大阪)、JPB駐車場フォーラム、実務者交流会 (福岡)、名古屋研修会)
    - ③ 部会報告 (①総務 ②広報 ③技術)
    - ④ 会計報告

- 《決議事項》
  - ① 新規入会：正 会 員)名城企画株式会社  
賛助会員)IDEC ALPS Technologies  
株式会社
- 《検討事項》
  - ① 大庭氏顧問就任 及び 福岡県警との協定式のメディアからの取材依頼について
  - ② 賀詞交歓会の開催について
  - ③ 平将明衆議院議員寄付金について

### ◆今後の行事予定

- ◎賀詞交歓会：2025年1月21日(火) 12:00～13:00
- ◎新春駐車場研修会：2025年2月 7日(金) 13:30～15:30
- ◎北海道支部研修会：2025年2月 6日(木) 16:00～20:00

- ◎沖縄懇親交流会：2025年2月20日(木)～22日(土)
- ◎九州支部研修会：2025年3月13日(木) 16:00～20:00  
14日(懇親ゴルフ)

# 不正駐車アンケート調査2023年の結果について

JPB不正駐車対策委員会

不正駐車対策委員会における「不正駐車アンケート調査2023年」の集計結果について、報告いたします。この集計は当協会会員内における調査に基づいています。

## 【アンケートについて】

調査対象：フラップ式、フラップレス式、ゲート式、前払いチケット式、その他種類における不正行為

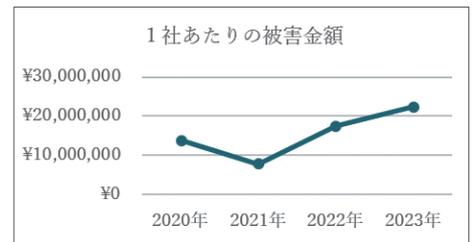
調査対象期間：2023年1月～12月

## 【集計結果】

対象年	回答社数	管理車室数	被害件数	被害額合計
2020年	28社	456,442車室	897,554件	¥384,176,556
2021年	23社	303,041車室	269,778件	¥177,887,611
2022年	21社	194,886車室	852,883件	¥367,356,608
2023年	27社	541,570車室	1,309,032件	¥602,546,027

## 【考察】

過去4年間の1社あたりの被害額の推移をみると、コロナ渦における売上推移と共に年々増加傾向にあります。1社あたりの被害額は、2,200万円を超えており、看過できない数字となっております。今回の集計結果を基に関係省庁との情報共有を視野に入れながら、不正駐車撲滅に向けて取り組みを進めていきたいと考えております。



年度	回答社数	種類	被害件数	被害額	一車室あたりの被害額	
2023年	27社	フラップ式	902,388	¥294,338,030	¥326	
		フラップレス	367,130	¥165,553,838	¥451	
		その他	545	¥57,305	¥105	
		ゲート・ゲートレス	25,329	¥28,608,870	¥1,129	
		前払いチケット	12,512	¥12,137,900	¥970	
		長期駐車（2か月以上）	723	¥87,147,994	¥120,537	
		放置（廃棄車両）	168	¥14,653,300	¥87,222	
		その他	237	¥48,790	¥206	
		合計		1,309,032	¥602,546,027	¥210,946
		長期・放置の合計		891	¥101,801,294	¥207,759
		長期・放置を除いた場合		1,308,141	¥500,744,733	¥3,187

## 【今後の取り組み】

不正駐車撲滅に向けた取り組みとして、不正駐車対策ステッカーを製作し、令和6年11月に実施の福岡県警との連携等によって、不正駐車対策を強化し、積極的に取り組んでまいります。

また、国土交通省、法務省、警察庁などの関係機関との協議および連携が不可欠です。当委員会は、簡便な手続きで不正車両の情報を開示し、料金回収の法的根拠を整備するために、積極的な働きかけを行い、問題の共有と解決策の構築を目指して取り組んでまいります。